

科目名	有機化学	科目分類	<input checked="" type="checkbox"/> 基礎教育科目 <input type="checkbox"/> 専門教育科目 <input type="checkbox"/> 卒業必修 <input type="checkbox"/> 栄養士必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択
英文表記	Organic Chemistry	開講年次	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年
ナンバリング	BE120E	開講期間	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
ふりがな	ほそかわ けいぞう	授業形態・修得単位	講義・2 単位
担当教員名	細川 敬三	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面のみ <input type="checkbox"/> 遠隔のみ <input type="checkbox"/> 対面・遠隔併用
		実務家教員担当科目	
授業のテーマ	・栄養成分（有機化合物）を理解するため有機化合物について化学構造から成分を理解・認識できるようになる		
授業概要	・有機化合物の構造式の基本的な表記方法について解説します ・食品や人体に含まれる有機化合物の構造的特徴について解説します		
到達目標	・有機化合物の構造式の基本的な表記方法を理解する ・食品や人体に含まれる有機化合物の構造式を認識できるようにする		
授業時間外の学習	・講義内容を復習し、不明な点を残さないようにしてください（30分） ・単元毎に小テストを実施するので復習をしてください（60分） ・次回のテキストを通読し、講義のテーマについて把握しておいてください（30分）		
履修条件	・生物学、化学を履修することが望ましい		
授業計画			
第1回	有機化合物とは キーワード：日本食品成分表、有機化合物と無機成分、官能基		
第2回	脂肪族化合物の化学構造と表記方法（1） キーワード：原子の結合、アルカン		
第3回	脂肪族化合物の化学構造と表記方法（2） キーワード：アルケン、シクロアルカン、シクロアルケン		
第4回	脂肪族化合物の化学構造と表記方法（3） キーワード：アルコール（1）		
第5回	脂肪族化合物物の化学構造と表記方法（4） キーワード：アルコール（2）		
第6回	脂肪族化合物の化学構造と表記方法（5） キーワード：エーテル、アルデヒド、ケトン、カルボン酸、エステル		
第7回	脂肪族化合物の化学構造と表記方法（6） キーワード：アミン、アミド、脂肪族化合物のまとめ		
第8回	芳香族化合物の化学構造と表記方法（7） キーワード：芳香族炭化水素		
第9回	芳香族化合物の化学構造と表記方法（8） キーワード：芳香族アミン、芳香族ヘテロ環化合物		
第10回	糖類の化学 キーワード：糖類の化学構造と表記方法（1）		
第11回	糖類の化学 キーワード：糖類の化学構造と表記方法（2）		
第12回	脂質の化学 キーワード：脂質の化学構造と表記方法		
第13回	アミノ酸の化学 キーワード：アミノ酸の化学構造と表記方法		
第14回	ビタミンの化学 キーワード：ビタミンの化学構造と表記方法		
第15回	まとめ		
第16回	定期試験		
テキスト	山田恭正（編）、栄養科学イラストレイテッド有機化学、羊土社		

参考文献・資料	講義資料をポータルサイトで適宜配布します
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期試験 50%、小テスト 40%、受講態度 10%</li> <li>・ 出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません</li> </ul>
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
オフィスアワー	授業終了後
受講生に望むこと・受講のルール	食品成分および人体に含まれる有機化学成分に関する基礎知識を修得するとともに有機化合物に興味を持って下さい